

モニタリング結果の概要

プロジェクト名

「紋別市有林間伐促進型森づくり事業」

- ・モニタリング対象期間

2008年4月1日～2010年3月31日

純吸収量の算定

$$\text{地上部バイオマス中の年間CO2吸収量 } \Delta C_{total} = \Sigma \Delta C_{FM} - \Sigma \Delta C_{Base}$$

2008年度	2009年度
990 t CO2	1,013 t CO2

- ・吸収量（地上部バイオマス）の算定

地上部バイオマス中の年間CO2吸収量 ΔC_{AG}

$$= \Sigma \Delta C_{AG, i} = \Sigma (\text{Area}_{Forest, i} \times \Delta \text{Trunk}_{sc, i} \times B E F_i \times W D_i \times C F \times 4.4 / 1.2)$$

$\Delta C_{AG, i}$ 森林経営活動（間伐）に基づく、階層*i*における地上部バイオマス中の年間CO2吸収量（t-CO2/年）

$\text{Area}_{Forest, i}$ 階層*i*において森林経営活動（間伐）が実施された森林面積（ha）

$\Delta \text{Trunk}_{sc, i}$ 収穫予想表等に基づく、階層*i*における単位当たりの幹材積の年間生長量（m3/ha/年）

$B E F_i$ 階層*i*における幹材積生長量に枝葉の生長量を加算補正するための係数

$W D_i$ 階層*i*における成長量（材積）をバイオマス（乾燥重量）に換算するための係数（t/m3）

$C F$ 樹木の乾燥重量から炭素量に換算するための炭素比率（0.5）

i 1, 2, 3…プロジェクト実施対象地における階層

プロジェクト対象値においては、林小班ごとに林齢及び樹種が異なるため、階層の単位は林小班とする。

※北海道における成長量は疎密度による補正前の状態を示すが、本案件では疎密度による補正を行ったものを成長量として扱う。

- ・吸収量（地下部バイオマス）の算定

地下部バイオマス中の年間CO2吸収量 ΔC_{BG}

$$= \Sigma \Delta C_{BG, i} = \Sigma (\Delta C_{AG, i} \times R_{ratio, i})$$

$\Delta C_{BG, i}$ 森林経営活動（間伐）に基づく、階層*i*における地下部バイオマス中の年間CO2吸収量（t-CO2/年）

$R_{ratio, i}$ 階層*i*における地上部バイオマス中の年間CO2吸収量に、地下部（根）を加算補正するための係数

i 1, 2, 3…プロジェクト実施対象地における階層（地形、植栽樹種等の森林成長に関する層：地位級）

ベースライン吸収量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

R001 の場合、グロスーネット計上方式の場合、人為的な活動（間伐）が実施されていない土地は吸収量算定の対象とならないため、ベースライン吸収量はゼロとなる。

プロジェクト排出量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

該当なし